

■指導力向上研修

◆ねらい : 人材育成の心得や自身の関わり方が人や組織にもたらす影響を考えます。何を教えるかは知識と経験、どう教えるかは技術と能力によることを理解し、どのように成長支援を実践していくか指導方針や育成テーマを決めます。ワークを通じて、ティーチングスキルやコーチングスキルを実践しながら身につけます。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
AM	1. OJTと人材育成のポイント (1) 指導育成の心構えを理解する「人間尊重の考え方」 (2) OJTによる育成とは (3) 育成の目的と目標を決める (4) 成長と成果にコミットすることの重要性を学ぶ (5) 業務支援と内省支援と精神支援を理解する	講義 個人ワーク ペアワーク
	2. ティーチングとコーチングの違いと共通点 (1) 何をどう教えるか、何のために教えるかという指導方針を決める (2) 個人の成長に合わせて育成テーマを決める (3) 日常のコミュニケーションを振り返り、自らの課題を明らかにする	講義 個人ワーク グループワーク
PM	3. ティーチングの技術を身につける (1) 目的・目標を伝える (2) 共通の土台をつくる(コンテキスト) (3) プロセスに沿って具体的に説明する (4) できたことを承認し、次のステップを示す (5) 応答する(説得する) (6) 未来の行動に繋がる助言をする	講義 ペアワーク グループワーク
	4. コーチングの技術を身につける (1) コーチングの歴史と背景 (2) 心の声を聴く (3) 称賛する、強みを伸ばす (4) 問いかける	講義 ペアワーク グループワーク
	5. まとめ	